

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	入居された時点より年々高齢化して来ている為、医療面に於いても病気の発生や重度化になる可能性が高くなっている。また、それに伴い利用開始時での意向が変わる事もあり、支援する側もされる側も意向の不明な点で不安がある。	重度化や終末期になっても、本人・家族等共に安心して暮らして行ける支援を行う。	重度化や終末期に於いての意向を本人又は家族等に再度確認し明確にすることで方針に添ったの支援に取り組む。また、本人を支える家族・医療機関との連絡を密に取り連携に努める。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。